

〔派遣労働者調査〕

1 派遣労働者の属性

(1) 年齢

派遣労働者を年齢階級別にみると、「35～39歳」が19.2%と最も高く、次いで「30～34歳」16.4%、「40～44歳」15.1%の順となっているが、前回調査では30～34歳が最も高くなっていた。これを性別にみると、男女ともに「35～39歳」がそれぞれ16.6%、21.3%と最も高くなっており、男では次いで「30～34歳」の15.8%、女では「40～44歳」の17.4%となっている。

(表 17)

表 17 性、年齢階級別派遣労働者割合

(単位：%)

性	派遣労働者計	年齢階級										
		15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65歳以上
総数	100.0	0.2	5.8	14.4	16.4	19.2	15.1	11.1	6.3	3.1	4.4	2.9
前回 [平成20年]	100.0	0.5	8.0	18.7	21.4	16.9	11.8	8.1	5.3	3.7	3.2	2.4
男	100.0	0.3	7.5	15.1	15.8	16.6	12.2	10.0	5.0	4.0	7.3	5.1
女	100.0	0.1	4.5	14.0	16.9	21.3	17.4	12.0	7.4	2.5	2.2	1.2

注：表頭「派遣労働者計」には、年齢階級不明が含まれる。

(2) 派遣労働者の収入源

派遣労働者の生活をまかなう収入源については、「自分自身の収入」が最も高く70.0%、次いで「配偶者の収入」20.4%となっている。

このうち、家族と同居していない派遣労働者の収入源は、「自分自身の収入」が99.5%と最も高くなっている。(表 18)

表 18 性・家族の状況、主な収入源別派遣労働者割合

(単位：%)

性・家族の状況	派遣労働者計	自分自身の収入	配偶者の収入	子どもの収入	親の収入	兄弟姉妹の収入	その他	不明	
総数	100.0	70.0	20.4	0.1	7.6	0.1	1.1	0.7	
男	100.0	91.2	1.5	0.1	5.4	0.0	1.0	0.9	
女	100.0	53.4	35.2	0.1	9.4	0.1	1.2	0.6	
家族の状況									
同居している	(75.3)	100.0	60.9	26.9	0.1	10.1	0.1	1.4	0.5
同居していない	(24.2)	100.0	99.5	0.2	-	0.0	-	0.2	0.1

注：1) 表側「総数」には家族の状況不明が含まれる。
2) () は総数を100とした家族の状況別の割合である。

(3) 最終学歴・在学の状況

在学していない派遣労働者の最終学歴は「高校卒」が38.2%と最も高く、次いで「大学卒」25.6%となっている。これを性別にみると、男は「高校卒」が42.3%と最も高く、次いで「大学卒」29.2%となっている。女は「高校卒」が34.9%と最も高く、次いで「高専・短大卒」24.2%となっている。また、在学中の派遣労働者割合は0.3%となっている。(表19)

表19 性、在学の有無・最終学歴別派遣労働者割合

性	派遣労働者計	在学していない	最終学歴						在学中	不明
			中学卒	高校卒	専修学校 (専門課程)修了	高専・短大卒	大学卒	大学院修了		
			(単位：%)							
総数	100.0	98.9 (100.0)	(5.1)	(38.2)	(14.4)	(15.1)	(25.6)	(1.6)	0.3	0.8
男	100.0	98.9 (100.0)	(7.0)	(42.3)	(15.2)	(3.4)	(29.2)	(2.8)	0.5	0.6
女	100.0	98.9 (100.0)	(3.7)	(34.9)	(13.8)	(24.2)	(22.8)	(0.6)	0.1	1.0

注：1) 中途退学の場合は、退学した学校ではなく、その前の学歴とした。
2) () は、在学していないを100とした割合である。

(4) 学校卒業後に初めて就いた仕事の就業形態【新規調査項目】

在学していない派遣労働者が学校卒業後初めて就いた仕事の就業形態をみると、「正社員」が74.4%、「正社員以外」が23.0%となっている(表20)。

表20 性、学校卒業後初めて就いた仕事の就業形態別派遣労働者割合

性	在学していない派遣労働者計	正社員	正社員以外	派遣労働者	短時間労働者	雇用期間の定め		有期契約労働者	その他	不明
						無し	あり			
						(単位：%)				
総数	100.0	74.4	23.0	8.1	6.1	4.3	1.8	4.8	3.9	2.7
男	100.0	73.0	24.9	10.5	6.5	3.6	2.9	3.9	4.0	2.1
女	100.0	75.5	21.4	6.3	5.7	4.8	0.9	5.6	3.8	3.1

(5) 派遣の種類と派遣先数

派遣労働者が従事する派遣の種類をみると、「登録型」は47.8%、「常用雇成型」は52.2%となっている。これを性別にみると、男は「登録型」30.5%、「常用雇成型」69.5%と「常用雇成型」が高く、女は「登録型」61.4%、「常用雇成型」38.6%と「登録型」が高くなっている。「登録型」の派遣労働者が現在登録している派遣元事業所の数をみると、「1か所」が51.5%と最も高く、次いで「2か所」19.0%となっている。(表21)

表21 性、派遣の種類及び「登録型」派遣労働者が登録している派遣元事業所数別派遣労働者割合

性	派遣労働者計	登録型	現在登録している派遣元事業所の数							常用雇成型
			1か所	2か所	3か所	4か所	5～6か所	7か所以上	不明	
			(単位：%)							
総数	100.0	47.8 (100.0)	(51.5)	(19.0)	(13.3)	(4.4)	(7.5)	(3.2)	(1.1)	52.2
前回 [平成20年]	100.0	43.2 (100.0)	(53.8)	(17.2)	(13.6)	(4.4)	(5.2)	(2.6)	(3.1)	56.8
男	100.0	30.5 (100.0)	(72.4)	(12.6)	(7.7)	(1.9)	(2.2)	(1.6)	(1.6)	69.5
女	100.0	61.4 (100.0)	(43.4)	(21.5)	(15.5)	(5.4)	(9.5)	(3.8)	(0.9)	38.6

注：() は、登録型の派遣労働者を100とした割合である。